

屋久島生態系モニタリング

屋久島北部植生垂直分布調査 (平成17年度調査)

・宮之浦岳北側斜面(標高900m地点)
 プロットは、222林班沢(仮称)の中流右岸の比較的斜面の緩い箇所に設定した。局所地形は、凹型斜面で、平均傾斜が10°、平均斜面方位が北西向きである。
 プロットの階層別植生は、高木層では、スギが優先し、スリハ・イガシ・エノキ・ナカマド・アカガシが混生する。
 亜高木層では、ユズリハ・スギ・イガシ・シキミ・ウラジロガシが多く、ヒメシャラ・マテバシイ・ナカマド・ハイノキ等が混生する。個体数は少ないがツナサワフタギ・リュウブ・ヤマボウシ・モクレイシ・クロハイ等も生育する。
 低木層では、サクラツツジ・ハイノキが多く、ついでシキミ・ヒサカキ・ササノカ・ヒメシャラ等が生育し、個体数は少ないがスギ・マテバシイ・ナカマド・アカガシ・ツナサワフタギ・ヒメサカキ・トカライヌツギ・ヤマグルマも生育する。
 草木草では、ハイノキが多く、サクラツツジ・ヒサカキ・ウラジロガシ・ササノカ・ヒメシャラ等が生育し、個体数は少ないがスギ・クロハイ・チャボ・シラトウキ・オオゴカウオウレン等も出現する。所々には杉の伐株が残っており、シキミ・サクラツツジ・ハイノキ・ナカマド・スギ・シキミ・ソコゴ・イガシ・オオゴカウオウレンが着生している。



基調講演

環境十二年十二月二十日、○日、九州、鹿屋、九洲、地、屋久島、主財屋方
 久島、鹿屋、九洲、地、屋久島、主財屋方
 久島、鹿屋、九洲、地、屋久島、主財屋方
 久島、鹿屋、九洲、地、屋久島、主財屋方

世界自然遺産登録一五周年 記念シンポジウム開催 屋久島の進むべき道



パネル展示



話に聞き入る参加者

でなたけ登と世補
 はパ環録題界佐小
 、ネ境共当し遺が野
 前ル提文生時て産、寺
 段デ起化とと基、浩
 にイし村循今調環屋
 屋しまし構環の講境久
 久カした想を屋演文島
 島シ。重念島行村体学
 界ヨ。要とにい「験学
 自性性しお、」長

運そ仕がとの活お然勢ン者レ
 午搬入の直出、段活動い休三のン十二月
 後は口後すて人差動て養九森屋タ二月
 は実ま、グいが解内実ボ(に護島カ一十五
 、施で全ル入消容施しラン白よ管理レ協日
 屋ま約でブ所込すはましテ雲、協議工、建
 久し約で白とのみる憩いた。ア峡久会等シ設
 森たkm谷に柵苔グの。保一島島等シ設
 林の。の小別をにルの。ア峡久会等シ設
 環し屋れ設被!大保一島島等シ設
 境尿か、置害プ岩全に自総ヨ業、

白谷雲水峡で保全活動を実施



し尿運搬の様子

換は換峡保
 が、会の全
 で参を整セ
 き加実備ン
 ました者施等
 と活しまし
 発したる
 意なた
 見会見交
 の交

管閉会
 理局宮
 城計画
 部長が
 九州森
 林



パネルディスカッションの様子(パネラーの皆さん)

屋久島の植物



スミレ
 (すみれ科)

板い著の水
 等こ作森峡屋
 をと権に久島
 撤が者のあ自
 去判に看た然
 し明許板た休
 ましたをつも養
 の得いのの林
 でてのけ白
 看な、姫雲

『ものけ姫の森』 (お知らせ)

いりて意、すしの貴
 き、欲見今。て自重
 たい今し交後ま、ま
 い、後い換もたき休意
 と、も。会この参い林を
 考活の機よ加との参考
 え動と機をの会う者考
 てをの意見つしもづ動
 います。てあけや、ま映後

らネ取説解生りく来民出方議
 関ル組明説態まこるが来向内容
 心展や等や系たしと主る性はか
 が示そ林、保、た。重をにとほら
 寄をの野樹護会。要着なもぼ、
 せ行成庁勢地場。実りあるじむ
 らい果の回域内。とに、る、べ
 れ、に保復-ではは、締行行、
 参関全措には、めつ政島直
 加すに置関、くてもものぐ道
 者る係-す森、く、い出住にの
 かパーの林

似の立元で草るり
 花て形すか、。高の北
 期いがるら径花さよ海
 る大葉多一は五い道
 一た工も数、濃、山から
 じめ。具。るちcm色、一〇、
 五月。の。上程で。稀、cm、
 墨和が。稀、稀、稀、
 入名り葉に、は、は、
 に花直根色年

年頭挨拶

屋久島森林管理署長 木暮甲吉

新年明けましておめでとーうございます

旧年中は、屋久島森林管理署として地域の経済だけでなく、十五夜、屋久島町体育大会、区の祭りや職場対抗のソフトボールなどいろいろな場面で、皆様と交流することができました。

今年も、昨年来教育委員会、校長会、教頭会の皆様にお話しを進めております。出前授業などを通じて交流もできればと考えております。ケニヤで三年間暮らした経験から、外に出るとケニヤでは日本の代表の如くいろいろ聞かれました。同様に日本でも著名な屋久島の世界自然遺産で暮らしてきた人、一人ひとりの方が、外の方から屋久島の代表の如く屋久島のことを聞かれても、誇りと自信をもって語れる人となつてほしいと思っております。

屋久島の子供たちや屋久島で暮らしている方々に、我々の知りうる世界ではありませんが、このすばらしい世界自然遺産を子供たちや孫たちに残していくために少しでもお役に立てればと考えており、学校やPTAなどのお申し出があれば、ご相談に乗つていければと考えております。

屋久島森林管理署は、世界自然遺産のエリアのほとんど(約九



屋久島森林管理署新庁舎

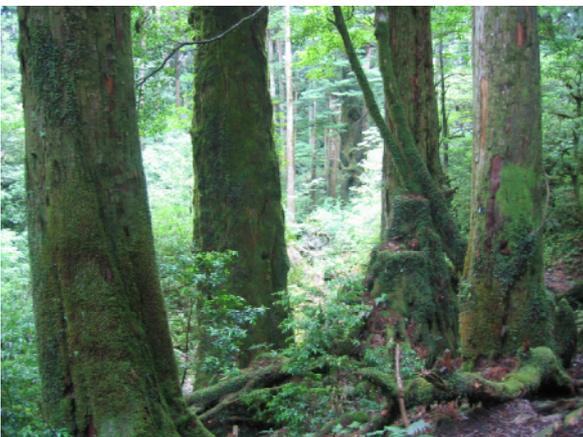
五%)の森林を管理する組織として、また、地球温暖化防止などのため間伐等植栽した森林の整備・管理を行ってきた組織として、これまで培ってきた技術や情報を屋久島の皆様にフィードバックできればと...。

旧営林署から森林管理署となり、また、その内部組織として森林環境保全センターを構築してから十五年を経ました。温暖化防止など森林の多面的な機能と木材生産と合わせてこれからはがんばっていきたいと考えております。今年も屋久島町の皆様を祈念して新年のごあいさつといたします。

屋久島国有林の概要図

国有林は、屋久島の森林の中で特に原生的な天然林を保存することは自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究等に役立てるため平成4年3月に「森林生態系保護地域」を設定しましたこうし動きは、大正10年の学術参考保護林の設定にさかのぼります。

また、森林と人とのふれあいの場を提供するため、風景林(大川の滝、千尋の滝、田代ヶ浜)、自然休養林(ヤクスギランド白谷雲水峡)などの適正な管理に努めています。



花山の原生自然環境保全地域の林相

- ・屋久島町面積(口永良部除く) 約0300ha
- ・国有林面積(7.6%) 約38300ha
- ・森林生態系保護地域(保存地区) 約9600ha
- ・森林生態系保護地域(保全利用地区) 約5600ha
- ・世界自然遺産登録地域(黒線囲い) 約10700ha